

朝陽地区

☆生活支援体制(地域包括ケアシステム)整備☆

『支え合うまちづくり通信』 第3号

発行:朝陽地区住民自治協議会 生活支援コーディネーター

原山
です
の
ネー
ター
の
生
活
支
援



第3回住民意見交換会を開催しました！
今後は、地区と各区に話し合いの場(協議体)
を作り、必要な活動作りに取り組みます！

第3回住民意見交換会を終えて…生活支援コーディネーター原山

「支え合うまちづくり」は、自分、大切なお子さんやお孫さん、父や妹、自分の大事な人たちが、5年先、10年先、もし自分がこの地区を離れていても、自分も、朝陽に居る家族も安心していられる、そういう場所を作ろうってことなんだなと思います。

色々な意見はあるけれど、住民意見交換会を通して、みんなと一緒に朝陽のことを考えてください、少しずつ前へ進むことが出来るなって感じています。朝陽でも、今、体操教室とか、居場所づくりとか、自然と自発的な活動が始まっています、自分たちの日常の中で、みなさんたちでやられています。

子どもの頃、学校から帰ると、祖母が、知り合いのお婆ちゃんにお茶を飲みに行って、鞄を置いて、そのお宅に行って縁側から覗くと、二人が座って話をしてるっていうのが、ほぼ毎日。あるとき、婆ちゃんが具合が悪くて、お茶のみに行かないと、「どうだい？」って覗きに来てくれたり、当たり前に、そういうのがあったなって。

もし、お子さんが、そういう繋がりの環境の中ずっと育つていけたら、多分、20年後30年後、自然に「どう？」って近所に顔を出せる環境になるのかななんて。今少しずつそんなみんなの繋がりが出来ていったら、そんな風になっていくんじゃないかなって私は感じています。

こうやって、みんなで自由にお話が出来るような意見交換会の場が、大きい規模じゃなくても、ちょっとゴミステーションで立ち話でもいいし、何かみんなで集まって、地域のこと話そうよっていう、そういう会が少しずつでも重なっていったら、一歩ずつ近づいていけるんじゃないかなと

第3回住民意見交換会を開催しました！

さわやか福祉財団の高橋望先生にお話しから…

高橋先生！



なぜ助け合いが必要なのか？それは、みんなが、楽しく、充実した毎日を地域で送っていくため。地域には、認知症、障害、お子さん、子育て中の母さん、お父さん、高齢者、色々な方がいます。誰もが、住み慣れた地域で最後まで心豊かに暮らせるような地域を作っていくのが目的です。そのためには、「人と繋がる」ことが大事。触れ合うことで、活き活きしたワクワクした生活を手に入れられるんです。

お互いの助け合いですから、一方的に支援するんじゃなくて、自分が出来る事では支えるけど、自分も困ったら支えてもらう。コミュニケーションの中で生まれてくることなので、楽しい、やりがい、役割、そんなものを感じていけます。

そういうことを、皆さんに、地域に、分かってもらって、広げていきたい。そんな取り組みです。

【連絡先】

朝陽地区住民自治協議会 生活支援コーディネーター（地域福祉ワーカー）原山
〒381-0014 長野市大字北尾張部226-9 電話/FAX: 213-6170
E-mail: j-asahi1906@orion.ocn.ne.jp ホームページ: <http://asahi-jk.jp>

グループ(各区)に分かれて話し合いをしました！

ステップ1「ニーズの把握」、ステップ2「担い手の発掘」のためにどんなことをするかを考えました。

◆南屋島区

ステップ2「担い手の発掘」：【①何をする？】回覧で募集 【②誰が？】自薦・他薦・紹介。団体の推薦。強制（年齢ルール化）。区長指名 【③いつから？】今 【④誰の協力？】知人、隣近所の方、とても積極的な人、育成会、公民館、消防団、ACながのパルセイロ、商工団体、地元企業、長野東高校の職員及び生徒、三帰寮、地域企業でボランティア

◆北屋島区

ステップ1「ニーズの把握」：【①何をする？】アンケート 【②誰が？】地区全体（隣組を含む）
【③いつから？】30年度 【④誰の協力？】親戚付き合いしている人、隣組、地域住民

ステップ2「担い手の発掘」：【①何をする？】声かけ。アンケートの項目に入れる 【②誰が？】子供たち。お嫁に来た女性のグループ。婦人会。女性。男性飲み会グループ。 【③いつから？】出来る範囲で徐々に 【④誰の協力？】育成会。住民

◆北長池区・・・参加した小学生の意見を紹介

『一人暮らしのお婆ちゃんが心配だから、そういう時は、遊びに行けばいい。どういうときに行くかというと、自分が空いてる時に家族の協力をもらって行く。友情を高めるために、一緒にご飯を食べる。友達のお母さんたちにも協力してもらって、自分の行ける土曜日とか日曜日に、行ったら良いと思う。』

◆北尾張部区・・・雪かきに的を絞った。

「担い手の発掘」：【①何をする？】「困ってる」「それならやるよ」と言いやすい雰囲気作り。部会や組レベルで顔見知り。一つのテーマを提供して、季節ごとに困りごとを、部会・組レベルで検討してもらう。 【②誰が？】9部会の部会長。組長。

◆石渡区

「ニーズの把握」：【①何をする？】アンケート。対話会。キーマン 【②誰が？】石渡まちづくり推進協議会 【③いつから？】アンケート済。対話会30年度 【④誰の協力？】常会長、隣組長
「担い手の発掘」：【①何をする？】公募。団体長に依頼 【②誰が？】石渡まちづくり推進協議会、民生児童委員、福祉推進員、健康推進員 【③いつから？】即（雪片付け） 【④誰の協力？】各種団体長、キーマン、シルバー人材センター

◆南堀区

「ニーズの把握」（雪かきとお買い物）：【①何をする？】民生委員の調査。道路上で留意。会合や立ち話から情報収集。長寿会・同好会聴き取り 【②誰が？】三役。民生委員。福祉推進員 【③いつから？】雪かきH30.12。お買い物お助けマン実施中 【④誰の協力？】お買い物お助けマン
「担い手の発掘」：【①何をする？】ちらし配布。説明会

◆北堀区（仮称 北堀できる会）

「ニーズの把握」：【①何をする？】ワークショップ。アンケート。民生委員・福祉推進員との情報共有。散歩時の挨拶。公園のママさんから情報収集。目安箱。

「担い手の発掘」：【①何をする？】地区、常会、隣組ごとに決め、先ずやってみる。各団体の横のつながりを利用して情報収集。地域で共感。リーダーを探す。

◆桜新町区

「ニーズの把握」：【①何をする？】アンケート。目安箱。住民集会での聴き取り。各種方法で情報収集。 【②誰が？】自治会。民生児童委員。お節介やさん。 【③いつから？】直ぐ。新年度。訴えを聴いた時